

竹の子まつりを振り返って



竹の子まつり担当

10月10日(木)多くの保護者の皆様にもご参加いただき、本校の伝統行事「竹の子まつり」が行われました。

3年生による柳窪囃子。6年生による一斉試技。奥住名人による高さ・滞空の技。みんなで歌う「竹とんぼ」の歌。44年続いてきた第十小学校の伝統が、毎年、こうして一つ一つ引き継がれていきます。

日本中探しても、竹とんぼを手作りし、全校あげて取り組んでいる学校は、本校だけではないでしょうか。手を使ってモノを作る大変さや喜び、学級の皆でアイデアを出し合い、繋がり合ってお店を成功させた経験の一つ一つが、これからの成長の土台となっていくことでしょう。

「とべ! 世界に一つしかない 竹とんぼ みんなの思いをのせて 大空にはばたけ」



3-1 めざせストライク



2-1 合体あたって
すりぬけおかしゲーム



とべ!2-2さいきょう
竹とんぼきょうそう



3-2 まとりック

~十小の顔として~

担任

6年生は様々な場面で、十小の顔として活躍しています。

<たてわり班活動>

6年生が中心となって1~5年生が楽しめる遊びを計画し、活動しています。「鬼ごっこならみんなが楽しめそうだ。」「長縄が苦手な子もいるから違う遊びにしよう。」「等、下級生全員が楽しめる遊びを考え、活動しています。

<3年生への竹とんぼ作りと飛ばしのお手伝い>

初めて一人で竹とんぼを作る3年生に、作り方と飛ばし方を教えました。「もう少し羽を削るともっと高く跳ぶよ。」「肩の力を抜くと安定して飛ばせるよ。」「困ったことがあればいつでも聞きにおいて。と優しく丁寧に教えており、最上級生としての自覚をもち、行動することができました。



道徳授業地区公開講座について

道徳担当

25日(月)3・4年 26日(火)1・2年

29日(金)5・6年

全日 5校時 道徳公開講座→保護者会(協議会)

道徳授業地区公開講座では、意見交換を通して、学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育を進めたいと考えています。

今回の公開講座では、「主として人との関わりに関すること(親切、思いやり、感謝、礼儀、友情、信頼、相互理解、寛容など)をテーマに行います。

道徳では、子供たちが、主体的な判断に基づいて道徳的実践を行い、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことが目標です。

そのために、各学年が子供たちの児童の発達段階や実態に応じて、教材を使い、答えが一つではない道徳的課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、向き合い、「考え、話し合い、次につなげていく」授業を展開できるように、職員一同努めて参ります。

